

ピクトグラム(絵文字)について

美術班(文)
井村夏希 角陸絵理歌 林一真

1. はじめに

1964年東京五輪で、オリンピックでは初めてピクトグラムが採用されたことを知り、ピクトグラムに興味を持った。様々なピクトグラムを調べるうちに、見ただけでは意味がわかりづらいと感じるピクトグラムがあることに気づき、それらについて研究をおこなった。

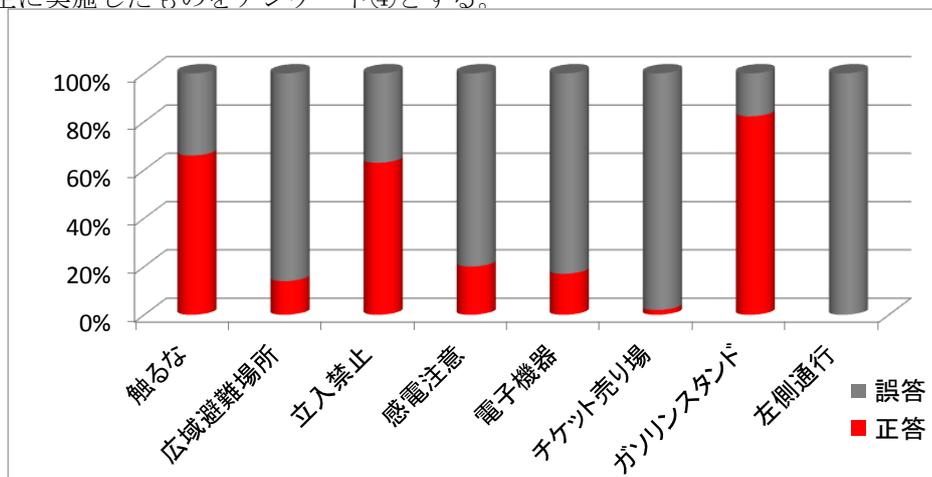
2. ピクトグラムについて

ピクトグラムとは、何らかの情報や注意を示すために表示される、視覚記号のひとつである。トイレの男女を区別するマーク、緑色の人物が走っている非常口のマークや電車の優先座席のマークなどが、私たちの身の周りのピクトグラムの具体例である。

3. 研究方法

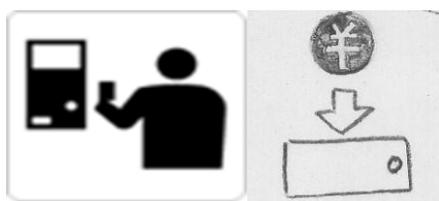
下記の要領で3回アンケートを実施し、集計・分析をおこなった。また、いずれのアンケートも回答方式は自由記述である。

- (1) まず、たくさんのピクトグラムのうち、意味がわかりづらいと感じたものを8つ選んだ。選んだピクトグラムの意味をどのように受け取るのか、2年文理学科生を対象に1回目のアンケート調査をおこなった。これをアンケート①とする。正答率の低かった5つのピクトグラムについて、その改良案を作成する予定だったが、アンケートに「背景等のピクトグラムが置かれている状況进行判断するものがない」という指摘を受けたため、それをふまえてアンケートを作成し直した。
- (2) 2回目は、正答率の低い5つのピクトグラムだけでなく背景等、それが置かれている場所の写真を添付し実施した。また、前回と違い、1年普通科生に調査対象を変えアンケートを実施した。これをアンケート②とする。
- (3) アンケート結果から正答率の低かったピクトグラムを更に3つに絞って改良案を作成し、それらに2回目のアンケートで使用したものと同じ背景等の写真を添付し、3回目のアンケートを1年普通科生と2年普通科生に実施した。2年普通科生まで調査対象を広げたのは、初見の人間が改良案のピクトグラムで高い正答率を得ることができるか、ということ調べるためである。1年普通科生に実施したものをアンケート③、2年普通科生に実施したものをアンケート④とする。

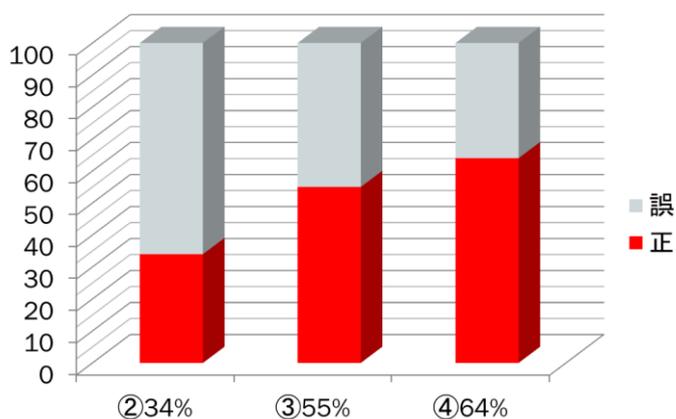


↑ アンケート①の結果

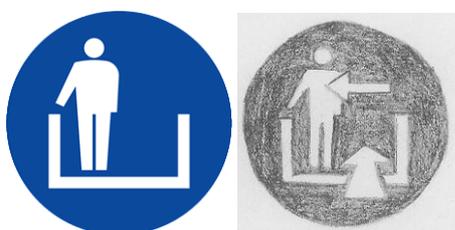
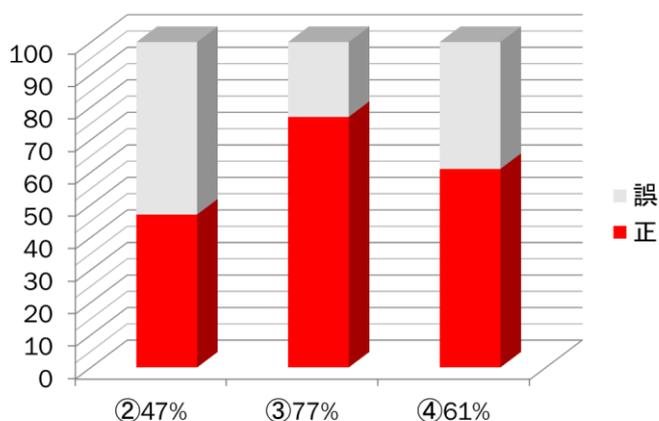
4. 結果と考察



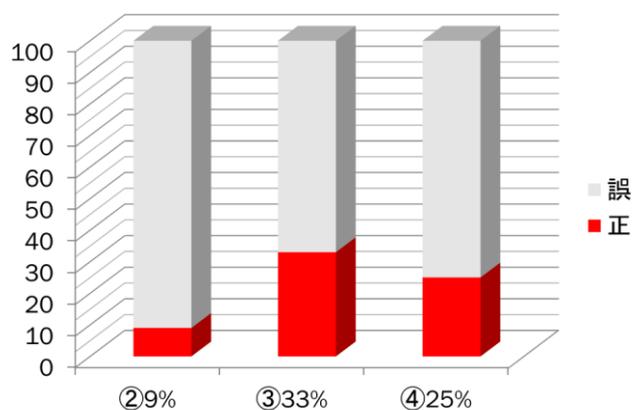
チケット売り場



電子機器使用禁止



左側にお立ちください



アンケート②③④より、いずれのピクトグラムも正答率が上がった。この結果から、現代社会で用いられているピクトグラムはまだ改良の余地があるということがわかった。また、アンケート①②から、置かれている状況によって意味が左右されるということもわかった。

5. 参考文献ならびに参考Webページ

聴覚障害者にわかりやすいピクトグラム 一向きの誤認を無くすための改良—
 (筑波技術大学 産業技術学部総合デザイン学科視覚伝達デザインコース
 井上征矢准教授 著)